

## 学科等における教員養成に対する理念・目標・教育課程

学部・学科	経済学部経済学科
校種（免許教科）	中学校教諭一種免許（社会） 高等学校教諭一種免許（公民） 高等学校教諭一種免許（商業）
<p>（１） 学科の理念</p> <p>経済学科では、本学の共通教育科目および経済学科科目などにおける教育を通じて、以下のような能力を備えた人材の育成に取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」の精神に基づく豊かな人間理解と寛容性の教養</li> <li>② 国際化がすすむ現代社会において、経済学を中心とする社会諸科学の基礎的・専門的知識を生かすことができる分析・応用能力</li> <li>③ 上記①および②に基づき、複雑に変化し国際化しつつある社会において、幅広く貢献し、活躍するために必要な論理的思考力や発想力、自己表現力、および問題解決能力</li> </ol> <p>そして、本学科におけるこれらの取り組みは、以下で述べるように、本学科教員志望学生の「中学・社会の指導能力」、「高校・公民の指導能力」、「高校・商業の指導能力」の養成にも大いに資するものとなっている。</p> <p>（２） 教員養成の目標・計画</p> <p>以下では、教員養成の目標・計画について、「本学科のカリキュラム」と上記①から③の能力育成との関りの観点から、より具体的に説明する。</p> <p>第１に、共通教育科目のうち、「人間の尊厳」科目、宗教科目、および基盤・学際科目（「思想と文化・芸術」、「歴史と世界」、「社会と経済・法律」、「自然と環境」、「科学と情報」の５分野）では、本学のモットーである「人間の尊厳のために」の精神、および国際人としての教養ならびに学際的視野の涵養、そして主に上記①と関わる「豊かな人間理解と寛容性の教養」の形成が目指されている。</p> <p>第２に、共通教育科目のうち分野科目、および学科科目のうち１年次に配置されている経済学の基礎科目では、主に上記②と関わる「経済学を中心とする社会諸科学の基礎知識」の習得が目指されている。</p> <p>第３に、学科科目のうち、３年次と４年次に必修科目として設けられている少人数制の演習科目では、参加型学習と個別指導の機会が提供され、卒業論文の作成指導を通じて、主に上記②および③と関わる「課題発見能力」、「論述能力」、「発表能力」の養成が目指されている。また、これらの演習科目の多くでは、統計学的手法に基づくプレゼンテーションが求められるとともに、関連分野の他大学とのインターゼミ等が企画され、ICT活用指導能力やアクティブ・ラーニングの指導方法が実践的に学べる体制が整っている。</p> <p>第４に、学科科目のうち、２年次から４年次に配置されている個別分野の専門科目では、「経済分析の方法」、「政策」、「国際」、「歴史と思想」の４つの科目群が設けられ、主に上記②および③と関わる「現実の経済問題を系統的に考察し分析する応用力」の養成が目指されている。</p> <p>第５に、共通教育科目のうち外国語科目、および学科科目のうち「経済外国語科目」では、上記①、②、③のいずれとも関わる「外国語のコミュニケーション能力」および「国際的な視野」の養成が目指されている。</p> <p>経済学科では、このように所定のカリキュラムに基づいて、上記①から③の能力の育成に取り組み、中学校、および高等学校における指導能力を備えた人材の養成に資することを通じ、広く地域社会および国際社会に貢献することを目指し、その実現のための計画を定めている。</p>	

### (3) 授業科目・教育課程の編成実施（校種・免許教科別に記載）

#### (ア) 中学校教諭一種免許（社会）

中学・社会の指導にあたっては、各生徒が広い視野に立って「日本や世界の地理的事象や地域的特色」、「日本と諸外国の歴史や文化」、「国民生活と経済活動との関わり」等を多面的・多角的に考察することを促し、各生徒の「公民としての基礎的教養」や「国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質」等の能力や資質を育てることが求められる。

一方、これらの考察対象、および求められる能力や資質の大半は、本学科のカリキュラム、ならびに本学科が育成に取り組んでいる上記①から③の能力と深く関わっており、さらにはこれらを重要なベースとして形成されるものと位置づけられる。

たとえば、考察対象の「日本と諸外国の歴史や文化」については、「日本史」、「世界史」などの共通教育科目（分野科目）、および「日本経済史」、「西洋経済史」、「経済思想史」などの経済学科科目（「歴史と思想」科目群）の内容と深く関わっている。また、「国民生活と経済活動との関わり」については、「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」などの経済学科・経済学基礎科目、および「金融論」、「労働経済学」などの経済学科科目（「政策」科目群等）の内容と深く関わっている。さらに、求められる能力・資質としての「公民としての基礎的教養や資質」については、①の「豊かな人間理解と寛容性の教養」や②および③の「分析・応用能力」、「自己表現力」、「問題解決能力」など、上記①から③の能力のいずれとも深く関わっている。このような科目群の設置を通し、上記のような教員育成の目的を達成しようとしている。また、教科指導法として、「社会・地歴科指導法A・B」「社会・公民科指導法A・B」を必修としている。

#### (イ) 高等学校教諭一種免許（公民）

高校・公民の指導にあたっては、各生徒が広い視野に立って「人間としての在り方・生き方」、「政治や経済に関わる諸課題」、「現代社会の基本的な問題」等について主体的に考察することを促し、各生徒の「人間としての在り方生き方についての自覚」、「諸課題への公正な判断力」、「民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民としての資質」等の能力や資質を育てることが求められる。

一方、これらの考察対象、および求められる能力や資質の大半は、本学科のカリキュラム、ならびに本学科が育成に取り組んでいる上記①から③の能力と深く関わっており、さらにはこれらを重要なベースとして形成されるものと位置づけられる。

たとえば、考察対象の「人間としての在り方生き方」については、「宗教論」や「哲学・倫理学における人間の尊厳」などの共通教育科目（宗教科目、人間の尊厳科目）、および「経済思想史」、「経済学史」などの経済学科科目（「歴史と思想」科目群）の内容と深く関わっている。また、「政治や経済に関わる諸課題」については、「政治学」、「経済学」などの共通教育科目（分野科目）、「マクロ経済学」などの経済学科・経済学基礎科目、および「金融論」、「労働経済学」などの経済学科科目（「政策」科目群等）の内容と深く関わっている。さらに、求められる能力・資質としての「諸課題への公正な判断力」、「民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民としての資質」については、①の「豊かな人間理解と寛容性の教養」や②および③の「分析・応用能力」、「自己表現力」、「問題解決能力」など、上記①から③の能力のいずれとも深く関わっている。このような科目群の設置を通し、上記のような教員育成の目的を達成しようとしている。また、教科指導法として、「社会・公民科指導法A・B」を必修としている。

#### (ウ) 高等学校教諭一種免許（商業）

高校・商業の指導にあたっては、各生徒の「経済活動やビジネスに関わる基礎的な知識」、「経済社会

の一員としての望ましい心構え」、「ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度」等の能力や資質を育てることが求められる。

一方、これらの知識や心構え、能力や資質は、いずれも本学科のカリキュラム、たとえば、「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」などの経済学基礎科目、「現代経済入門」、「経済統計入門」などの経済学入門科目、「金融論」、「労働経済学」などの個別分野科目（「政策」科目群等）、「仕事とキャリアの形成」、「自己とキャリアの形成」、「企業と業界の研究」などのキャリア科目で学ぶ内容と深く関わっている。さらに、これらの知識や心構え、能力や資質は、いずれも本学科が育成に取り組んでいる上記①から③の能力、すなわち、①の「豊かな人間理解と寛容性の教養」や②および③の「分析・応用能力」、「自己表現力」、「問題解決能力」などと深く関わり、かつこれらの能力を重要な基盤として涵養されている。また、教科指導法として、「商業科指導法A・B」を必修としている。